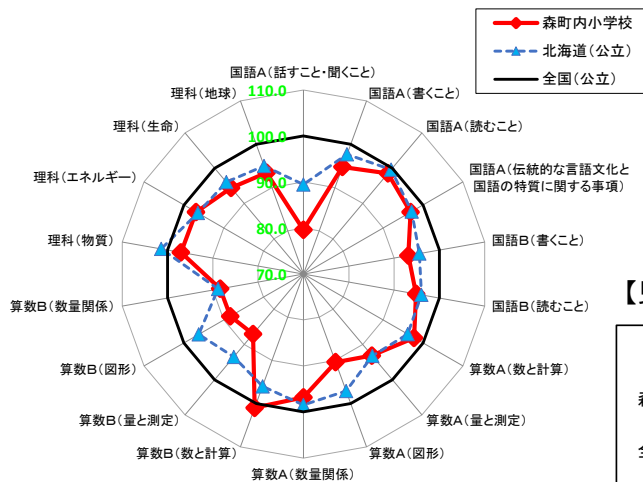


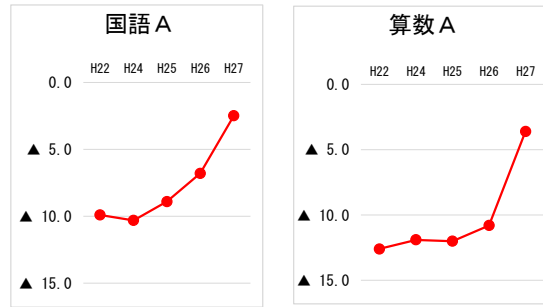
■森町内小学校の状況及び学力向上策(学校数:7、児童数:135名)

【教科全体の状況】

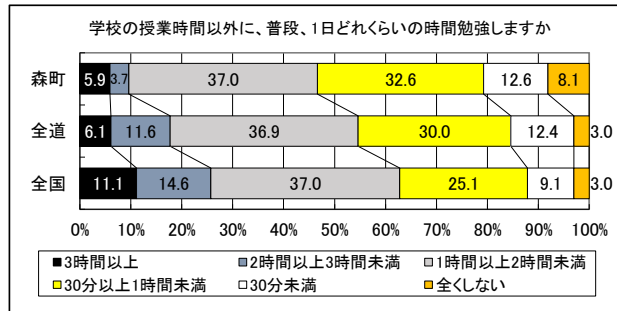
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したものを
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



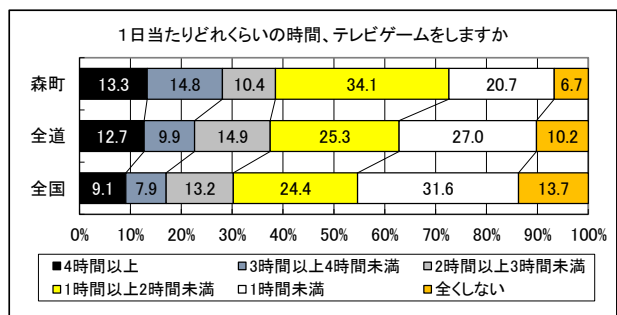
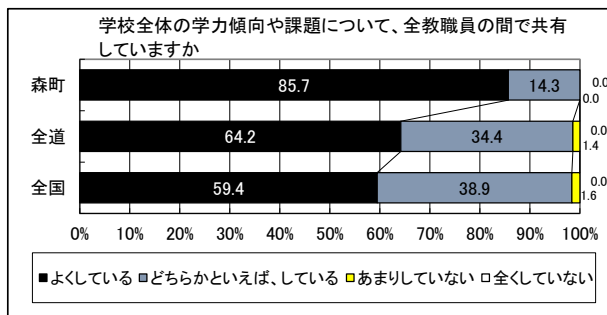
【平均正答率の全国との差の推移】



【児童質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語Aでは「読むこと」、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」で全道とほぼ同様になっている。国語Bでは「読むこと」で全道とほぼ同様になっている。 ○ 算数Aでは「数と計算」で全道を上回り、「量と測定」、「数量関係」で全道とほぼ同様になっている。算数Bでは「数と計算」で全国及び全道を上回り、「数量関係」で全道とほぼ同様になっている。 ○ 理科では「エネルギー」で全道を上回り、「生命」、「地球」で全道とほぼ同様になっている。 	○ 学校全体の学力傾向や課題について、教職員で共通理解を図って取組を進めたことにより、国語Aと算数Aで、全国の平均正答率との差が縮小する結果につながったと考えられる。
児童質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「1日当たり1時間以上勉強をしている」と回答した児童の割合が、全道を下回っている。 ○ 「1日当たり1時間以上テレビゲームをしている」と回答した児童の割合が、全国及び全道より多い。 	
学校質問紙	○ 「学校全体の学力傾向や課題について、全教職員の間で共有している」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。	

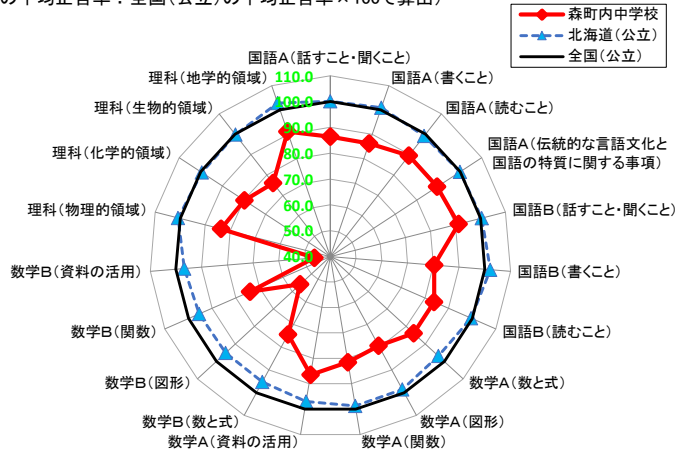
【森町の学力向上策】

- ◎ 平成26年度に策定した学力向上3か年計画に沿った、学校での学習指導体制の確立
- ◎ 家庭でのよりよい学習習慣や生活習慣の定着に向けた家庭と連携した取組の推進
- ◎ 経年での分析により学力等に関する課題を明確にするため、学力検査と知能検査を、第2～6学年に対して継続して実施

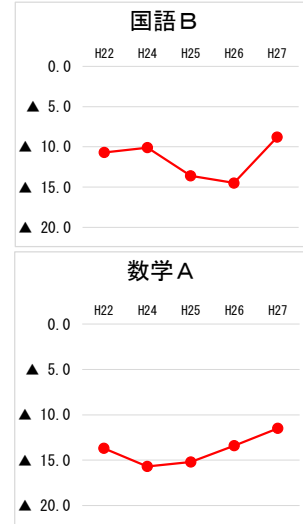
■森町内中学校の状況及び学力向上策(学校数:2、生徒数:132名)

【教科全体の状況】

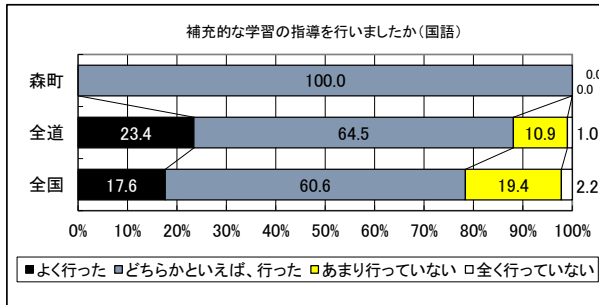
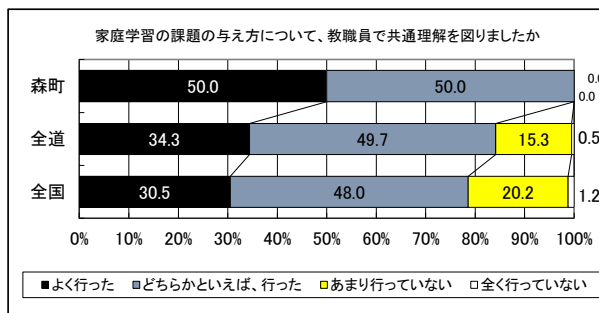
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



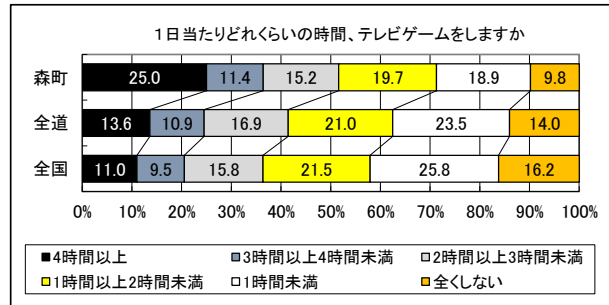
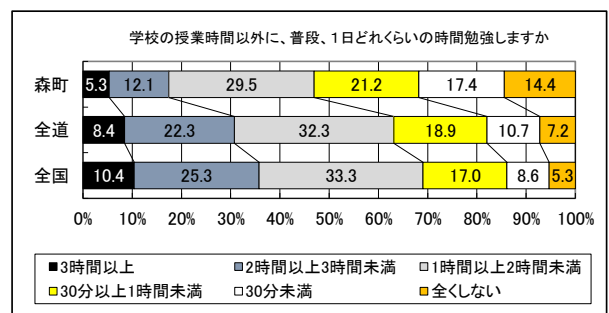
【平均正答率の全国との差の推移】



【学校質問紙調査】



【生徒質問紙調査】



【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語A・Bともに、全ての領域で全道を下回っている。 ○ 数学A・Bともに、全ての領域で全道を下回っている。 ○ 理科では、全ての領域で全道を下回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生活習慣の改善や補充学習の充実により、基礎的・基本的な学習内容の定着が図られてきており、特に、数学Aでは、年々、全国の平均正答率との差が縮小している。
生徒質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「1日当たり1時間以上勉強をしている」と回答した生徒の割合が、全道を下回っている。 	
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「家庭学習の与え方について、教職員で共通理解をよく図っている」、「国語で補充的な学習の指導を行っている」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 	

【森町の学力向上策】

- ◎ 町独自の学習支援員の配置による学習指導の充実
- ◎ 平成26年度に策定した学力向上3か年計画に沿った、学校での学習指導体制の確立
- ◎ 家庭でのよりよい学習習慣や生活習慣の定着に向けた家庭と連携した取組の推進
- ◎ 経年での分析により学力等に関する課題を明確にするため、学力検査と知能検査を、全学年に対して継続して実施